

# 読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書1, 2月分

新しく入った本の中から  
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【鬼滅の日本史】 小和田哲男/監修 宝島社 726.1/キ

リアル鬼殺隊 vs 鬼——1600年の戦いが蘇る!!!

日本の古典に“実話”として記録された鬼。なぜ生まれ、人びとを苦しめたのか。そして、鬼とは一体”誰”だったのか。

『鬼滅の刃』のルーツと隠されたメッセージを探る。

【ルビィ】 重松清/著 講談社 F/シケ

作家の仕事に疲れて自殺を図ったダザイさんは、一人の少女・ルビィと出会った。3年前に命を絶ったルビィは天国に行くために、7人の命を救うという義務を負っていた。その義務を果たす旅に付き合わされたダザイさんは、出会った人たちの心の中に自分と同じ痛みを見つけて……。

【青くて、溺れる】 丸井とまと/著 KADOKAWA F/マル

学校にも家にも居場所がない祥子の毎日は、まるで溺れているように息苦しい。祥子はある日「名前のない」喫茶店を見つける。誰にも言えない思いを抱え込んでいた祥子だったが、その喫茶店で自分の「過ち」を告白し……。

【ホーキング、宇宙を語る -ビッグバンからブラックホールまで-】

スティーヴン・W・ホーキング/著 林一/訳 早川書房 443.9/ホ

「アインシュタインの再来」にして、難病と闘いながら遙かな時空へ思考をはせた「車椅子の天才」ホーキング。宇宙はどうやって生まれ、どんな構造をもっているのか。この根源的な問いに挑み、全世界を驚嘆させた現代最高宇宙論。

【社会に出るあなたに伝えたい なぜ、読解力が必要なのか？】

池上彰/著 講談社 810.4/イ

間違っているのか正しいのかわからない情報が日々押し寄せてくる現代。だからこそ、自分で正しい答えを出す力……「何がいちばん大事かを見抜く力」が最大の武器になる。人生でとても大切な「生きる力」＝「読解力」の身につけ方を池上彰先生が伝授！

【図鑑哲学 ～人生を変える100の話～】トム・ジャクソン/著 高橋昌一郎/監訳

屋代菜海/訳 ニュートンプレス 102/シ

なんとなく、難しくて近寄りがたいイメージがある「哲学」ですが、「人間とは何か」を問う、実はとてもシンプルな学問です。ソクラテスやプラトン、デカルトなど、偉大な思想家たちの考えや人生観をコンパクトに紹介し、哲学の世界を簡単に知ることができる、入門書に最適な1冊。

【図解でわかる 14歳から考える資本主義】

インフォビジュアル研究所/著 太田出版 332.0/ス

「お金がお金を生むからくり」「世界の9人に1人が飢える不平等」「お金はどうして生まれたか？」など、わかりやすく『経済』を図解した本書で、SDGs がめざす新しい社会を、「お金」の視点から考えてみよう。

【オール・アメリカン・ボーイズ】 ジェイソン・レノルズ/著

ブレンダン・カイリー/著 中野怜奈/訳 偕成社 933/レノ

ポテトチップスを買に行った店で万引きを疑われ、白人警官から激しい暴行を受けた黒人の少年ラシャド。それを目撃した白人の少年クラインは、その警官が友人の兄だと気づき現場から逃げた。事件の動画が拡散し、2人の通う高校では抗議デモの計画が持ち上がり……。アメリカの今を映し出す感動作。

【見た目レンタルショップ 化けの皮】 石川宏千花/著 小学館 913/イシ

見た目を変えた客と、本来の客の姿をした店員。彼らは、なにを体験して、なにを感じ、なにを得るのか。

狐を使役する一族の末裔と狐たちが営むレンタルショップが舞台の、〈見た目〉をめぐる10の物語。

読みたかった本がある  
…かもしれない  
《ティーンズコーナー》  
をのぞきにきてね。